

被害者支援 ニュース

支 公益社団法人
全国被害者支援ネットワーク
National Network for Victim Support

第36号

2021.12.20 発行

公益社団法人
全国被害者支援ネットワーク
〒113-0033 東京都文京区本郷 2-14-10
東京外国語大学本郷サテライト 6階
TEL 03-3811-8315 FAX 03-3811-8317
ホームページ <http://www.nnvs.org/>
Twitter 公式アカウント @nnvs_org

■巻頭言	フォーラム2021によせて	1
■特集	フォーラム2021&令和3年度秋期全国研修会	2~7
	フォーラム2021報告	2
	基調講演「犯罪被害者のメンタルヘルスとその支援・治療の発展、今後の課題」	2~3
	被害者の声「けんちゃんの朝顔に交通安全の願いを込めて」	4~5
	パネルディスカッション「被害者が望む支援のために～第4次犯罪被害者等基本計画～」	6~7
	表彰式	8
	秋期全国研修会（全体会）	10
	秋期全国研修会（分科会）	10
■お知らせ・編集後記		12

巻頭言 フォーラム2021によせて

公益社団法人全国被害者支援ネットワーク
副理事長 ● 三輪 佳久

第1 はじめに——又々異例づくしのフォーラム

今回のフォーラムは、新型コロナウイルス感染症の流行という前代未聞の事態で行われた昨年の異例づくしのフォーラムが、肝心の感染症がおさまらず、又々昨年と同様のウェブ方式(YouTube)でのフォーラムになってしまいました。そして、当日の参加者についても「都内在住者に限る」という制限がつけられ、仙台在住の小職もウェブ方式による参加となりました。フォーラム当日の参加者は、会場は100名定員(使用率20%)とされたため、座席も指定制となり、例年の満員近い参加者で活気あふれる会場とは異なり、空席の方が多い座席にパラパラと参加者が座るといふ会場の様子でした。

このような形で行なわれたフォーラムでしたが、内容は充実し、熱気あふれた会場の雰囲気は、ウェブで視聴していた小職にも伝わりました。

第2 第1部基調講演

本フォーラムで最初に行なわれた基調講演は、犯罪被害者支援と犯罪被害者のメンタルヘルスの研究をされている武蔵野大学教授の中島聡美様による、「犯罪被害者のメンタルヘルスとその支援・治療の発展、今後の課題」という内容で行なわれました。事前に配付された資料は、犯罪被害者支援に役立つ大切な情報満載の45頁に及ぶ資料でした。

講演では、この資料を元に犯罪被害者のメンタルヘルスの取組、精神科治療の進展と問題点、そして昨年のフォーラムでも議論された犯罪被害者支援と行政機関との連携とその問題点、さらに犯罪被害者支援の今後の課題等でありました。このような犯罪被害者支援に欠かせない充実した盛り沢山の内容でした。

私達犯罪被害者支援に携わる者にとって役立つ話を大変わかりやすく解説して頂きました。どうもありがとうございました。

第3 第2部

(1) 「被害者の声」

「被害者の声」は、交通事件被害者ご遺族の母親による「けんちゃんの朝顔に交通安全の願いを込めて」という、当時小学1年生であった被害者の長男謙信君の思い出や、事件後、被害者が残っていた朝顔が交通安全のシンボルになったという交通安全啓発活動

に携わっておられるというお話でした。「けんちゃんの朝顔」が全国各地に広がり、交通死亡事故が少なくなることを信じて活動しておられる母親に、会場から共感と励ましの拍手が寄せられました。

(2) パネルディスカッション

パネルディスカッションでは、犯罪被害者支援を専門とする武庫川女子大学准教授の大岡由佳様をコーディネーターとして、被害者支援都民センター理事長及び全国被害者支援ネットワーク理事で、精神科医師としてトラウマ臨床研究に携わっている飛鳥井望様、大阪被害者支援アドボカシーセンターの支援総括責任者をされている井上尚美様、そして警察庁で犯罪被害者等施策担当の長官官房参事官として、犯罪被害者等基本計画の作成及び推進に携わってこられている西連寺義和様の3名をパネリストとして、「被害者が望む支援のために～第4次犯罪被害者等基本計画～」というテーマで行われました。

まず、多くの被害者支援センターが悩んでいる地方公共団体との連携について、東京、大阪での実践例や取組例の説明、及び多くの自治体での被害者支援に携わる専門職の人材確保の難しさと財政上の問題がネックとなっていること、これらのために、自治体や関係機関と支援センターとの顔の見える関係までなかなか進まない現状であること、また、災害などによる大規模被害者事案に対する支援体制の構築や、被害が潜在化しやすい性暴力被害者に対する支援などの難しい事例についても、各パネリストが実践に即した様々な解決策を議論して頂き、各パネリストの被害者支援に対する熱い思いが伝わり、充実したパネルディスカッションでした。その中で示された被害者支援活動への課題は、各支援センターへのこれから取り組むべき目標となるのではないのでしょうか。参加された方々どうもありがとうございました。

最後になりましたが、本フォーラムに参加された皆様及びウェブ方式で視聴された方々が、本フォーラムから犯罪被害者支援の重要性、必要性を再認識され、これからの犯罪被害者支援活動が一層充実されることを衷心より願っております。

参加者の皆様どうもありがとうございました。

発行：公益社団法人全国被害者支援ネットワーク